

水道事業



能登半島地震 給水支援状況（石川県七尾市）

1 水道事業の沿革

明治7	最初の黒川引水計画着工	平成7	4月 知久平統合簡易水道事業認可(南原・知久平・中組簡易水道を統合) 事業開始
9	黒川井水完成するが一昼夜で崩壊		
27	第2回黒川引水計画	9	3月 大門原無水源簡易水道事業 事業完了
大正9	6月 簡易水道布設の議決を行う		米川簡易水道施設整備事業 完了・認可 事業開始
11	10月 (土井の)簡易水道布設の認可を受ける		4月 料金改定(上水道・簡易水道 消費税3%→5%)
13	2月 飯田町上水道布設を計画	11月	飯田市上水道通水70周年記念式典
15	11月 飯田町上水道布設許可を内務大臣から受ける	10	3月 伊豆木簡易水道 事業完了
昭和2	3月 上飯田村の砂払浄水場予定地において起工式実施		4月 川路簡易水道 事業変更認可
3	12月 砂払浄水場完成 飯田町上水道布設完成		8月 伊豆木簡易水道 給水開始
	飯田市		9月 川路簡易水道 増補改良事業着手
12	4月 上飯田町と合併し飯田市発足	10月	料金改定(上水道8.6%・簡易水道4.8%)
30	4月 滝の沢簡易水道・大平簡易水道 給水開始	11	1月 法山簡易水道建設事業 事業認可 事業開始
31	4月 正永寺原簡易水道 給水開始		3月 上久堅簡易水道事業 事業認可
	5月 川路簡易水道 給水開始		妙琴浄水場 急速濾過池増設1池完了
32	2月 時又簡易水道 給水開始		大瀬木無水源簡易水道事業 事業完了
	4月 上水道第一次拡張(区域拡張、松尾・鼎町・上郷村)	4月	ハンディターミナルによる料金検針業務開始
	7月 下瀬簡易水道 給水開始	12	3月 妙琴浄水場 急速濾過池増設1池完了
10月	押洞簡易水道・立石簡易水道 給水開始		知久平統合簡易水道事業 事業完了
35	2月 北の原簡易水道 給水開始	8月	砂払浄水場 配水池増改築工事着手
	8月 一色簡易水道(鼎町) 給水開始	9月	知久平統合簡易水道 給水開始
36	3月 名古屋熊簡易水道(鼎町) 給水開始	13	3月 上下水道情報システム運用開始
	6月 三六災 台風災害で水道管も被害を受ける		中央監視操作施設(浄水場OA化) 運用開始
38	3月 伊賀良簡易水道 給水開始	14	3月 上久堅簡易水道事業 変更認可
	12月 上郷村営上水道経営の認可を受ける	4月	料金改定(上水道4.0%・簡易水道2.7%)
39	10月 上郷村営上水道着工	8月	法山簡易水道 一部給水開始
40	上水道第二次拡張事業に着手	11月	砂払浄水場 配水池増改築工事完了
42	1月 知久平簡易水道 給水開始	15	4月 22日～23日妙琴浄水場給水事故(飲用制限)
	12月 野底浄水場工事完了(上郷村)	6月	上久堅簡易水道 上久堅浄水場築造工事着手
43	2月 上郷村営上水道 給水開始	16	3月 川路簡易水道増補改良事業 事業完了
44	3月 北の原簡易水道を廃止、上水道へ統合		法山簡易水道建設事業 事業完了
	上下水道組合	17	3月 米川簡易水道拡張整備事業 事業完了
45	2月 飯田市・鼎町・上郷村下水道組合に上水道事業を加え	4月	川路・立石・龍江・山本・伊豆木・知久平統合・沢城簡易
	飯田市・鼎町・上郷村上下水道組合 変更設立		水道を廃止し上水道事業へ統合
	2月 上水道他簡易水道の経営廃止許可申請書提出		簡易水道料金の一部を引下げ水道料金と統一
	3月 飯田地区広域上水道の経営認可を受ける	10月	上村・南信濃村合併により飯田市簡易水道に統合
10月	松川ダム起工式	18	9月 上下水道料金のコンビニ収納を開始
46	9月 広域上水道妙琴浄水場 建設着手	19	9月 「水道ビジョン」(長期整備計画)策定
	10月 上飯田簡易水道 事業認可	11月	上久堅簡易水道 一部給水開始
48	8月 広域上水道妙琴浄水場 完成	20	3月 遠山簡易水道事業 事業認可
	10月 松川ダム湛水開始	4月	料金改定(上水道・簡易水道 平均5.77%)
49	7月 広域上水道一部給水開始	10月	上下水道料金徴収業務の民間委託を実施
50	4月 飯田市上水道・上郷町営水道・鼎一色・名古屋熊簡易水道	22	3月 上久堅簡易水道事業、和田第1浄水場 事業完了
	など飯田地区広域上水道へ統合	22	7月 和田第1浄水場 運転開始
51	4月 沢城簡易水道 給水開始	23	4月 米川・法山・上久堅簡易水道を水道事業に統合
53	4月 飯田地区広域上水道として事業経営認可を受け、飯田市	24	3月 此田浄水場 工事完了 運転開始
	鼎町、上郷町の水道事業統合	4月	風折浄水場 工事完了 運転開始
54	4月 市内広域上水道給水区域外の未給水地域に対処する為、	25	1月 十原浄水場 工事完了 運転開始
	水道室を設置する	3月	下中郷浄水場 工事完了 運転開始
55	6月 龍江簡易水道 給水開始		遠山簡易水道整備事業 事業完了
	7月 中村無水源簡易水道 給水開始	26	3月 上黒田(旧上郷第2)配水池 工事完了
56	4月 中組簡易水道 給水開始	4月	料金改定(上水道・簡易水道 消費税5%→8%)
59	4月 米川簡易水道の運営管理を飯田市水道室へ移管	28	11月 妙琴浄水場更新整備事業(第1期)着手
	12月 鼎町合併により飯田市・上郷町上下水道組合と改称	29	3月 「水道ビジョン(改定版)」水道事業経営戦略策定
60	5月 南原簡易水道 給水開始	29	4月 遠山簡易水道を水道事業に会計統合
61	8月 川路簡易水道 変更認可(下瀬簡易水道を編入)	30	3月 鼎配水池 更新整備工事完了
63	4月 山本簡易水道 一部給水開始	31	3月 今宮中継ポンプ場 整備工事完了
平成1	3月 米川簡易水道事業変更認可 事業開始		遠山簡易水道事業 変更認可
	4月 沢城簡易水道、中組簡易水道の経営移管	令和1	10月 料金改定(上水道・簡易水道 消費税8%→10%)
2	3月 伊豆木簡易水道事業 事業認可 事業開始	2	3月 「水道事業経営戦略(令和元年度版)」策定
5	4月 大門原無水源簡易水道事業 事業開始	3	3月 妙琴浄水場更新整備事業(第1期)完了
	飯田市	4	3月 飯田市上水道事業 変更認可
5	7月 上郷町合併により飯田市水道局と改称	11月	「第3次飯田市水道ビジョン」策定
平成7	1月 料金改定(上水道18.7%・簡易水道0.6%)	5	5月 「水道事業経営戦略(令和5年度改定版)」策定
	4月 大瀬木無水源簡易水道事業 事業開始	6	1月 料金改定(上水道・簡易水道 18.0%)

2 水道事業の進め方（「第3次飯田市水道ビジョン」より）

（1）水道事業の経営理念（目指す方向性）

「安全でおいしい水道水を安定して供給する」ことを基本目標とし、運営基盤（組織・施設・財政）を強化し、災害に強く持続可能な水道を目指す。

（2）水道事業の運営方針

国土交通省の「新水道ビジョン」に示された三つの観点「持続」、「安全」、「強靱」にあわせて、「安全」、「強靱」、「持続」とします。

目標	3つの運営方針	8つの施策の柱
基本目標 安全でおいしい水道水を安定して供給する	運営方針1「安全」 すべてのお客様が安心して飲める安全で良質な水道を目指します。	①安全で良質な水道水質の確保 ②広域交通拠点周辺の水道施設整備
	運営方針2「強靱」 災害等による被害を最小限に留めると共に、危機管理体制の充実した水道を目指します。	③管路の計画的な更新と耐震化 ④浄・配水施設の計画的な更新と耐震化 ⑤災害に対応した適切な管理と仕組み作り
	運営方針3「持続」 お客様と共に歩み、将来にわたって持続可能な水道を目指します。	⑥経営基盤の強化 ⑦水道の広域化・DXの取組・人材の育成【新】 ⑧ゼロカーボンへの取組【新】

【国の新水道ビジョンにおける目指すべき方向性】

時代や環境の変化に対して的確に対応しつつ、水質基準に適合した水が、必要な量、いつでも、どこでも、誰でも、合理的な対価をもって、持続的に受け取ることが可能な水道		
『安全』な水道	『強靱』な水道	サービスの『持続』
すべての国民が、いつでもどこでも、水をおいしく飲める水道	自然災害等による被災を最小限にとどめ、被災した場合であっても、迅速に復旧できるしなやかな水道	給水人口や給水量が減少した状況においても、健全かつ安定的な事業運営が可能な水道

(3) 各施設等の現状と運営・更新に係る将来的な基本方針

ア 水源・取水地点

妙琴浄水場の松川水源をはじめとする上水道区域の水源及び上町浄水場の水荒沢水源をはじめとする簡易水道区域の水源の多くは、取水・導水施設も含めて老朽化が著しい状況です。他に良好な水質で必要水量を確保できる水源がない箇所は、引き続き現水源・取水・導水施設を安全に使用するために、計画的に施設の更新をしていきます。

また、降雨時高濁度による浄水停止等の可能性の高い水源、給水人口が少なく施設効率が著しく低い水源等については、新たな水源の可能性、他浄水エリアへの統合も含め調査等検証を進めていきます。

イ 浄水場

(ア) 上水道区域

上水道区域の浄水場は、建設から30年以上経過したものが多く、施設の老朽化に加え耐震性も低い状態です。

特に妙琴浄水場は、市民の6割以上の飲料水を賄う水道事業の心臓部でありながら、老朽化や耐震性等の脆弱性に加え、原水水質の影響による高濁度もあり、最優先で更新整備を行う必要がある浄水場です。まず、耐震化した管理棟と浄水池を整備するため、平成28年度に妙琴浄水場更新整備事業（第1期）に着手し、令和2年度に整備を完了しました（管理棟・浄水池）。令和2年度より2か年で妙琴浄水場更新整備事業（第2期）の具体化に向けて基本設計を実施し、令和5～7年度の3か年で薬品注入施設と自家発電設備の更新工事を行っています。

(イ) 簡易水道区域

簡易水道区域の浄水場については、給水人口のわずかな区域の施設が多いことから、水質管理を最優先しつつ費用対効果を勘案した施設更新を行っています。

ウ 送配水施設

(ア) 配水池・ポンプ場等

配水区域が隣接するなどの地理的な条件を満たし、管網整備を効率よく行うことができる配水池・ポンプ場等については、施設運営をより効率的に行うため統廃合を進め、更新施設の詳細設計により水需要予測などから施設のダウンサイジング等を検証し、適切な規模で効率的に更新を進めます。

また、各配水池・ポンプ場の持っている容量や能力に、それぞれの施設の経過年数や劣化度を考慮して、更新の必要性の高い施設から順次更新していきます。

(イ) 送水管・配水管等

建設年度の古い浄水場の配水区域は、建設当初に布設した送配水管が非常に多く残っており、経年劣化も進んできています。原則として布設年度が古く、お客様への影響が大きなもの、浄水場から配水池、重要な施設を結ぶ基幹管路等から順次更新を行っています。さらに他事業関連の工事に併せて布設替えを実施するなど経費の節減に努めます。

また、飯田市水道施設更新に係る基本方針により物理的評価と重要度評価を基に更新順位を判定し、順位の高い管路から更新することで災害に対して強い管路整備を進めます。

3 水道事業の計画と実績

(令和6年3月31日現在)

区分	事業名	水道事業計	水道事業 内訳		簡易水道事業計	簡易水道事業 内訳		合計
			上水道	H23統合簡水		上村	南信濃	
計画	給水区域内人口 (人) ①	98,600	95,294	3,306	1,700	1,700		100,300
	給水人口 (人) ②	97,900	94,600	3,300	1,700	1,700		99,600
実績	行政区域内人口 (人) ③	94,000	90,923	3,077	1,400	343	1,057	95,400
	給水区域内人口 (人) ④	94,000	90,923	3,077	1,339	343	996	95,339
	給水人口 (人) ⑤	93,363	90,291	3,072	1,338	343	995	94,701
	普及率 (⑤/④) (%) ⑥	99.3%	99.3%	99.8%	99.9%	100.0%	99.9%	99.3%
	給水栓数 (栓) ⑦	44,589	43,198	1,391	1,051	290	761	45,640
	うち13mm (栓) a	41,348	39,986	1,362	967	264	703	42,315
	うち20mm (栓) b	2,100	2,090	10	45	14	31	2,145
	うち25mm (栓) c	744	734	10	29	7	22	773
	うち40mm (栓) d	270	262	8	7	5	2	277
	うち50mm (栓) e	100	99	1	3	0	3	103
	うち75mm (栓) f	24	24	0	0	0	0	24
	うち100mm (栓) g	1	1	0	0	0	0	1
	うち公衆浴場用 (栓) h	2	2	0	0	0	0	2
計画	年間配水量 (m ³) ⑧	10,850,355	10,500,320	350,035	254,405	57,305	197,100	11,104,760
	配水能力 (m ³ /日) ⑨	44,409	42,964	1,445	1,419	449	970	45,828
実績	年間配水量 (m ³) ⑩	10,228,553	9,885,224	343,329	263,333	73,181	190,152	10,491,886
	1日最大配水量 (m ³) ⑪	30,806	29,825	981	946	256	690	31,752
	年間給水量 (有収水量) (m ³) ⑫	9,024,979	8,769,220	255,759	144,972	31,581	113,391	9,169,951
	うち13mm (m ³) i	7,028,035	6,803,461	224,574	112,146	25,725	86,421	7,140,181
	うち20mm (m ³) j	488,007	487,026	981	8,287	920	7,367	496,294
	うち25mm (m ³) k	393,606	386,277	7,329	10,656	1,299	9,357	404,262
	うち40mm (m ³) l	545,290	522,754	22,536	4,412	3,342	1,070	549,702
	うち50mm (m ³) m	351,877	351,538	339	9,471	295	9,176	361,348
	うち75mm (m ³) n	212,532	212,532	0	0	0	0	212,532
	うち100mm (m ³) o	5,496	5,496	0	0	0	0	5,496
	うち公衆浴場用 (m ³) p	136	136	0	0	0	0	136
有収率 (⑫/⑩) (%) ⑬	88.2%	88.7%	74.5%	55.1%	43.2%	59.6%	87.4%	
施設実績	浄水場(急速ろ過) (カ所) ⑭	4	2	2	2	2	0	6
	浄水場(緩速ろ過) (カ所) ⑮	2	2	0	3	0	3	5
	浄水場(膜ろ過) (カ所) ⑯	1	0	1	7	6	1	8
	浄水池及び配水池 (池) ⑰	89	67	22	36	11	25	125
	管路延長 (m) ⑱	1,101,173	958,374	142,799	84,508	33,778	50,730	1,185,681
	うち導水管 (m) q	26,222	20,638	5,584	13,311	6,571	6,740	39,533
	うち送水管 (m) r	179,521	149,468	30,053	12,648	4,263	8,385	192,169
	うち配水管 (m) s	895,430	788,268	107,162	58,549	22,944	35,605	953,979

4 水道事業の現状

(1) 給水人口、普及率、有収水量、有収率等の推移

年度	区分	給水人口		普及率		配水量		有収水量		有収率 %	料金収入(税抜)		備考
		実数(人)	増減(%)	① %	② %	実数 (m ³)	増減(%)	実数 (m ³)	増減(%)		実数(千円)	増減(%)	
水道事業 (会計)	26年度	101,179	△ 0.5	99.0	97.0	11,137,608	△ 3.3	9,541,348	△ 2.0	85.7	1,477,796	△ 1.7	
	27年度	100,722	△ 0.5	99.0	97.1	11,271,511	1.2	9,444,431	△ 1.0	83.8	1,462,910	△ 1.0	
	28年度	100,150	△ 0.6	99.0	97.2	11,367,595	0.9	9,580,451	1.4	84.3	1,482,753	1.4	
	29年度	99,244	△ 0.9	99.1	97.3	11,443,400	0.7	9,505,670	△ 0.8	83.1	1,472,596	△ 0.7	
	30年度	98,473	△ 0.8	99.1	97.4	11,325,306	△ 1.0	9,479,281	△ 0.3	83.7	1,469,271	△ 0.2	
	元年度	97,498	△ 1.0	99.2	97.5	10,829,620	△ 4.4	9,290,052	△ 2.0	85.8	1,444,338	△ 1.7	
	2年度	96,508	△ 1.0	99.2	97.6	11,183,227	3.3	9,311,070	0.2	83.3	1,445,497	0.1	
	3年度	95,442	△ 1.1	99.3	97.6	10,628,119	△ 5.0	9,249,227	△ 0.7	87.0	1,436,752	△ 0.6	
	4年度	94,390	△ 1.1	99.3	97.8	10,329,031	△ 2.8	9,106,669	△ 1.5	88.2	1,418,009	△ 1.3	
	5年度	93,363	△ 1.1	99.3	97.9	10,228,553	△ 1.0	9,024,979	△ 0.9	88.2	1,415,896	△ 0.1	
簡易水道事業 (会計)	26年度	1,964	△ 4.1	100.0	1.9	249,403	△ 2.3	201,552	△ 3.1	80.8	34,655	△ 1.6	
	27年度	1,890	△ 3.8	100.0	1.8	265,619	6.5	195,804	△ 2.9	73.7	33,615	△ 3.0	
	28年度	1,824	△ 3.5	100.0	1.8	273,096	2.8	194,779	△ 0.5	71.3	32,285	△ 4.0	
	29年度	1,751	△ 4.0	99.9	1.7	270,376	△ 1.0	189,205	△ 2.9	70.0	32,743	1.4	
	30年度	1,671	△ 4.6	99.9	1.7	256,562	△ 5.1	179,526	△ 5.1	70.0	31,404	△ 4.1	
	元年度	1,598	△ 4.4	99.9	1.6	252,505	△ 1.6	173,041	△ 3.6	68.5	30,390	△ 3.2	
	2年度	1,561	△ 2.3	99.9	1.6	254,112	0.6	164,043	△ 5.2	64.6	29,129	△ 4.1	
	3年度	1,527	△ 2.2	99.9	1.6	265,030	4.3	165,438	0.9	62.4	29,511	1.3	
	4年度	1,445	△ 5.4	99.9	1.5	261,687	△ 1.3	154,236	△ 6.8	58.9	27,792	△ 5.8	
	5年度	1,338	△ 7.4	99.9	1.4	263,333	0.6	144,972	△ 6.0	55.1	26,719	△ 3.9	
両事業 合算	26年度	103,143	△ 0.6	99.0	98.9	11,387,011	△ 3.3	9,742,900	△ 2.0	85.6	1,512,451	△ 1.7	
	27年度	102,612	△ 0.5	99.0	98.9	11,537,130	1.3	9,640,235	△ 1.1	83.6	1,496,525	△ 1.1	
	28年度	101,974	△ 0.6	99.1	99.0	11,640,691	0.9	9,775,230	1.4	84.0	1,515,038	1.2	
	29年度	100,995	△ 1.0	99.1	99.0	11,713,776	0.6	9,694,875	△ 0.8	82.8	1,505,339	△ 0.6	
	30年度	100,144	△ 0.8	99.1	99.0	11,581,868	△ 1.1	9,658,807	△ 0.4	83.4	1,500,675	△ 0.3	
	元年度	99,096	△ 1.0	99.2	99.1	11,082,125	△ 4.3	9,463,093	△ 2.0	85.4	1,474,728	△ 1.7	
	2年度	98,069	△ 1.0	99.2	99.1	11,437,339	3.2	9,475,113	0.1	82.8	1,474,626	0.0	
	3年度	96,969	△ 1.1	99.3	99.2	10,893,149	△ 4.8	9,414,665	△ 0.6	86.4	1,466,263	△ 0.6	
	4年度	95,835	△ 1.2	99.3	99.3	10,590,718	△ 2.8	9,260,905	△ 1.6	87.4	1,445,801	△ 1.4	
	5年度	94,701	△ 1.2	99.3	99.3	10,491,886	△ 0.9	9,169,951	△ 1.0	87.4	1,442,615	△ 0.2	

注1 普及率 ①＝給水人口÷給水区域内人口 ②＝給水人口÷行政区域内人口 (いずれも外国人登録人口含む)

注2 簡易水道事業は、平成28年度まで特別会計として経理。

(2) 水道料金・加入金

令和6年1月1日改定
(1か月・消費税込み)

ア 水道料金表

区分	基本料金			従量料金 (1 m ³ につき)		
	使用水量	口径	料金	口径	従量区分	料金
一般・営業用	8 m ³ 以下	13 mm	1,320 円	13 mm	9 m ³ 以上20 m ³ 以下の部分	183 円
		20 mm	1,727 円	20 mm		
		25 mm	2,464 円	25 mm	21 m ³ 以上の部分	200 円
		40 mm	5,929 円	40 mm	1 m ³ 以上の部分	200 円
		50 mm	9,130 円	50 mm		
		75 mm	21,934 円	75 mm		
		100 mm	37,125 円	100 mm		
公衆浴場用		13 mm	643 円	13 mm	1 m ³ 以上の部分	56 円
		20 mm	711 円	20 mm		
		25 mm	993 円	25 mm		
		40 mm	2,695 円	40 mm		
		50 mm	5,525 円	50 mm		

参考：水道料金の推移 (口径13mm、1か月22m³使用の場合、消費税込み)

○ 水道料金

	平成14年4月1日 平均4.0%改定	平成17年4月1日 据置き	平成20年4月1日 平均5.77%改定	平成26年4月1日 消費税5%→8%	令和1年10月1日 消費税8%→10%	令和6年1月1日 平均18.0%改定
基本料金	1,008 円	1,008 円	1,066 円	1,096 円	1,116 円	1,320 円
従量料金	1,986 円	1,986 円	2,100 円	2,158 円	2,200 円	2,596 円
計	2,994 円	2,994 円	3,166 円	3,254 円	3,316 円	3,916 円

○ 簡易水道料金

	平成14年4月1日 平均2.7%改定	平成17年4月1日 水道料金と統一	平成20年4月1日 平均5.77%改定	平成26年4月1日 消費税5%→8%	令和1年10月1日 消費税8%→10%	令和6年1月1日 平均18.0%改定
基本料金	1,113 円	1,008 円	1,066 円	1,096 円	1,116 円	1,320 円
従量料金	1,986 円	1,986 円	2,100 円	2,158 円	2,200 円	2,596 円
計	3,099 円	2,994 円	3,166 円	3,254 円	3,316 円	3,916 円

イ 加入金表

(消費税込み)

口径	給水区域	
	右記を除く区域	下久堅・上久堅・千代・龍江・三穂 (伊豆木)・山本(久米を除く)・伊 賀良(沢城)・上村・南信濃
13 mm	77,000 円	99,000 円
20 mm	99,000 円	121,000 円
25 mm	198,000 円	253,000 円
40 mm	550,000 円	704,000 円
50 mm	880,000 円	1,133,000 円
75 mm	2,200,000 円	2,827,000 円
100 mm	3,740,000 円	—

(3) 令和5年度主要事業の概要

ア 上水道事業

(ア) 妙琴浄水場更新事業 (起債事業)

① 事業内容 (単位: 千円)

工事箇所等	概要	決算額
薬品注入施設更新工事	薬品注入施設 一式	269,940
自家発電設備更新工事	自家発電設備 一式	20,020
合計		289,960

② 事業費 (単位: 千円)

予算額	決算額	特定財源			自己財源
		国県支出金	公営企業債	一般会計出資金	
339,922	289,960	0	195,600	65,100	29,260

(イ) 野底浄水場補完事業 (起債事業)

① 事業内容 (単位: 千円)

工事名等	概要	決算額
上郷第1配水池築造工事	R C造 Ve=420m ³	220,100
合計		220,100

② 事業費 (単位: 千円)

予算額	決算額	特定財源			自己財源
		国県支出金	公営企業債	一般会計出資金	
263,815	220,100	0	165,000	55,000	100

(ウ) 老朽管更新事業 (起債事業)

① 布設替状況 (単位: 千円)

工事名等	布設替延長	消火栓	決算額
今宮町1丁目 (市道1-13号高羽丸山線他)	L=479.4m	4基	35,266
上郷飯沼 (市道1-92号上溝橋下土曾川橋線他)	L=394.2m	2基	27,192
砂払町	L=37.2m (水管橋含)		25,652
曙町 (市道1-19号線他)	L=299.0m	2基	24,460
上郷黒田 (市道1-85号線他)	L=254.0m	1基	22,825
上郷別府2 (市道上郷216号線)	L=269.2m	1基	20,669
上郷別府 (市道上郷204号線他)	L=319.9m	1基	17,050
羽場町5丁目 (市道飯田180号線)	L=303.7m	1基	16,984
舗装本復旧工事 (龍江) (東鼎)			28,523
白山町3丁目南	L=32.6m (水管橋含)		4,951
水管橋詳細設計、河川占用書類作成業務 (曙町2)			792
公共嘱託登記業務委託 (鼎東鼎) (砂払町)			463
用地取得	A=3.97m ²		6
合計			224,833

② 事業費 (単位: 千円)

予算額	決算額	特定財源			自己財源
		国県支出金	公営企業債	一般会計繰入金	
314,200	224,833	0	155,000	10,549	59,284

(工) 基幹管路耐震化事業 (起債事業)

① 事業内容

(単位: 千円)

工事名等	布設延長	決算額
送水管布設替工事 (国道256号線 水神橋)	L=362.1m	60,000
送水管布設工事 ((主) 飯島飯田線 大門町)	L=158.2m	27,511
舗装本復旧工事 (市道1-11号線他 高羽町5,6丁目)	L=368.0m A=1,113m ²	10,549
宮崎橋水管橋橋台詳細設計業務		3,740
野底川水管橋詳細設計に伴う測量業務		2,387
山の田沢川水管橋詳細設計に伴う測量業務		363
基幹管路耐震化工事に伴う測量業務 (野底川水管橋)		352
合計		104,902

② 事業費

(単位: 千円)

予算額	決算額	特定財源			自己財源
		国県支出金	公営企業債	一般会計繰入金	
150,000	104,902	0	94,200	0	10,702

(才) 米川浄水場非常用発電更新 (単独事業)

① 事業内容

(単位: 千円)

工事名等	概要	決算額
米川浄水場非常用発電更新工事	一式	50,028
合計		50,028

② 事業費

(単位: 千円)

予算額	決算額	特定財源			自己財源
		国県支出金	公営企業債	一般会計繰入金	
59,950	50,028				50,028

イ 簡易水道事業

施設改良事業 (起債事業)

① 事業内容

(単位: 千円)

工事名等	概要	決算額
程野浄水場膜モジュールユニット更新工事	2基	9,350
上町浄水場更新詳細設計業務	一式	7,381
下栗浄水場更新詳細設計業務	一式	6,171
合計		22,902

② 事業費

(単位: 千円)

予算額	決算額	特定財源			一般財源
		国県支出金	公営企業債ほか	その他	
33,638	22,902	0	21,000	0	1,902

5 水道施設の概要

(1) 浄水施設の概要（上水道）

No.	項目 施設名	完成	水源	計画浄水量 (m ³ /日)	給水人口 (人)	ろ過方式	概要
①	妙琴浄水場	昭和48年 8月31日	松川	27,000	61,765	急速ろ過	松川ダムの建設に合わせて整備した浄水場。松尾・竜丘・川路・三穂・山本・伊賀良・鼎・下久堅及び龍江の一部へ給水している。
②	沢城浄水場	昭和51年 4月1日	清水沢	214		急速ろ過	大瀬木及び山本大明神の一部へ給水している。
③	砂払浄水場	昭和3年 2月29日	阿智川 (黒川)	13,860	22,303	緩速ろ過	黒川の水が、13.7kmに及ぶ導水管によって浄水場まで運ばれている。橋北・橋南・羽場・丸山・東野・上郷及び座光寺の下段地域へ給水している。
④	野底浄水場	昭和42年 12月30日	板山川	1,890	6,223	緩速ろ過	上郷及び座光寺の上段地域へ給水している。
⑤	米川浄水場	平成3年 12月27日	米川	945	1,891	急速ろ過	法全寺山中地区を除く千代のほぼ全域並びに龍江、下久堅及び上久堅の一部へ給水している。
⑥	法山浄水場	平成14年 3月15日	谷沢川	81	180	膜ろ過	千代の法全寺地区及び山中地区へ給水している。
⑦	上久堅浄水場	平成17年 2月25日	越久保川 玉川	419	1,001	急速ろ過	上久堅のほぼ全域へ給水している。
計				44,409	93,363		

(2) 浄水施設の概要（遠山簡易水道）

No.	項目 施設名	完成	水源	計画浄水量 (m ³ /日)	給水人口 (人)	ろ過方式	概要
①	上町浄水場	平成4年 3月25日	水荒沢	156	127	急速ろ過	上村上町地区及び南信濃八日市場地区へ給水している。
②	程野浄水場	平成11年 3月10日	小沢川 大平沢	110	100	膜ろ過	上村程野地区へ給水している。
③	下栗浄水場	平成2年 3月10日	途中沢 水見沢	95	76	急速ろ過	上村下栗地区及び南信濃上中根、須沢地区へ給水している。
④	ウトウドチ浄水場	平成12年 3月31日	漆平沢	5	4	膜ろ過	上村ウトウドチ地区へ給水している。
⑤	上中郷浄水場	令和2年 1月20日	神燈沢	14	4	膜ろ過	上村上中郷地区へ給水している。
⑥	風折浄水場	平成24年 4月25日	風折	6	5	膜ろ過	上村風折地区へ給水している。
⑦	下中郷浄水場	平成25年 3月25日	下中郷	31	37	膜ろ過	上村下中郷地区へ給水している。
⑧	上区大野浄水場	平成30年 3月1日	大野	16	2	膜ろ過	上村大野地区へ給水している。
⑨	川合浄水場	平成16年 3月26日	川合	14	14	緩速ろ過	南信濃川合地区へ給水している。
⑩	和田第1浄水場	平成22年 7月14日	和田	540	716	緩速ろ過	南信濃和田地区の一部へ給水している。
⑪	此田浄水場	平成24年 3月14日	此田	22	20	緩速ろ過	南信濃此田地区へ給水している。
⑫	十原浄水場	平成25年 1月22日	十原	30	22	膜ろ過	南信濃十原、和見地区へ給水している。
⑬	本村分水槽	平成14年 2月25日	本村	83	45	井戸	南信濃本村、梅平地区に給水している。
⑭	上区屋敷浄水場	令和2年 2月17日	上区屋敷	16	8	井戸	上村屋敷地区に給水している。
⑮	木沢配水池	平成16年 4月1日	木沢	101	43	井戸	南信濃木沢、小道木、柗の上地区へ給水している。
⑯	名古屋山第1配水池	平成18年 4月1日	名古屋山	37	46	井戸	南信濃名古屋山第1、第2地区へ給水している。
⑰	上島配水池	平成11年 8月1日	上島	40	21	井戸	南信濃上島地区へ給水している。
⑱	池口配水池	平成27年 3月27日	池口	103	48	井戸	南信濃池口、和田大島、漆平島地区へ給水している。
	計			1,419	1,338		

(3) 浄水池及び配水池の概要

○上水道

1. 妙琴浄水場系

No.	施設名	容量(m ³)	緊遮
1	妙琴浄水池 (P)	2,000.0	
2	妙琴PCタンク	5,015.0	○
3	鼎高区配水池	80.0	
4	鼎配水池	1,300.0	○
5	北の原配水池	2,400.0	○
6	駄科配水池	556.8	○
7	時又配水池	65.6	
8	上川路配水池	817.4	○
9	桐林配水池	108.0	
10	伊賀良中区配水池 (P)	1,017.0	○
11	伊賀良低区配水池 (P)	960.0	○
12	北方配水池	249.6	○
13	入野配水池	550.0	○
14	大瀬木配水池	100.0	
15	三尋石配水池	60.4	
16	大瀬木高区配水池	70.0	○
17	大瀬木中区配水池 (P)	100.8	○
18	大瀬木低区配水池	174.0	○
19	西部山麓配水池	1,700.0	○
20	白山配水池 (P)	1,200.0	○
21	押洞第1配水池	248.0	
22	押洞第2配水池 (P)	189.0	
23	滝の沢配水池 (P)	248.0	
24	正永寺原第1配水池	26.0	
25	正永寺原第2配水池	150.0	
26	正永寺原第3配水池	441.0	
27	久米配水池	112.5	○
28	天竜峡配水池 (P)	345.0	
29	原田配水池	231.0	○
30	竜峡配水池	56.0	
31	伊豆木受水槽兼配水池(P)	61.0	
32	伊豆木特高区配水池	54.0	○
33	伊豆木高区配水池	59.0	○
34	伊豆木中区配水池	126.0	○
35	伊豆木低区配水池	197.0	○
36	立石配水池	54.6	
37	下瀬配水池	131.0	○
38	龍江配水池	249.6	
39	龍江低区配水池 (P)	138.0	
40	龍江高区配水池	70.0	○
41	知久平配水池	345.6	○
42	南原配水池	168.8	○
43	中組配水池 (P)	216.0	○
44	亀平配水池	165.0	○
45	柿野沢配水池	60.5	○
46	上虎岩配水池 (P)	108.0	○
47	大虎配水池	108.0	○
48	山本高区配水池	118.8	○
49	山本中区配水池 (P)	294.0	○
50	山本低区配水池	390.0	○
51	箱川配水池	90.0	○

(注) 緊遮: 緊急遮断弁
(P): 送水ポンプ有り

2. 砂払浄水場系

No.	施設名	容量(m ³)	緊遮
52	砂払第1配水池	3,070.0	○
53	砂払第2配水池	2,000.0	○
54	砂払第3配水池	2,000.0	○
55	下黒田配水池 (P)	2,031.0	○
56	上郷第4配水池	248.0	
57	高松配水池	504.0	○
58	座光寺低区配水池	550.0	○

3. 野底浄水場系

No.	施設名	容量(m ³)	緊遮
59	野底配水池	1,004.0	
60	上郷第1配水池	62.5	
61	上黒田配水池	1,100.0	○
62	上郷第5配水池	151.0	
63	大堤配水池	90.0	
64	大門原低区配水池 (P)	57.6	
65	大門原高区配水池	38.0	

4. 沢城浄水場系

No.	施設名	容量(m ³)	緊遮
66	沢城配水池	210.0	
67	沢城第2配水池	105.8	○

5. 米川浄水場系

No.	施設名	容量(m ³)	緊遮
68	米川配水池	90.0	
69	天伯配水池 (P)	320.0	○
70	荻田配水池	45.0	
71	荻坪配水池	110.0	○
72	大郡配水池	90.0	○
73	尾林上配水池	140.0	○
74	尾林配水池	80.0	○
75	千栄配水池	90.0	○
76	芋平配水池 (P)	80.0	○
77	蛇沼配水池	82.5	○
78	野池配水池	50.0	○
79	雲母配水池	150.0	○
80	尾科配水池	100.0	○

6. 法山浄水場系

No.	施設名	容量(m ³)	緊遮
81	法山配水池	45.0	○
82	法全寺第1配水池	50.0	○
83	法全寺第2配水池 (P)	60.0	○
84	山中配水池	56.3	○

7. 上久堅浄水場系

No.	施設名	容量(m ³)	緊遮
85	上久堅配水池	170.0	○
86	越久保配水池	110.0	○
87	上平配水池	140.0	○
88	馬場垣外配水池	110.0	○
89	上原配水池	30.0	

○簡易水道

8. 遠山簡易水道

No.	施設名	容量(m ³)	緊遮
(旧上町簡易水道)			
H27 旧八日市場飲料水供給施設 統合			
1	上町第1配水池	395.0	
(旧程野簡易水道)			
2	程野配水池	120.0	
(旧下栗簡易水道)			
3	下栗配水池	109.2	
4	中根配水池	50.8	
5	須沢配水池	38.4	
6	上須沢配水池	32.0	
(旧和田簡易水道)			
7	和田第1配水池	338.0	
8	和田第2配水池	188.5	
9	和田第3配水池	31.4	
(旧木沢簡易水道)			
10	木沢配水池 (P)	60.8	
11	柄の上配水池	20.8	
12	小道木配水池	44.0	
13	川合第1配水池	15.3	
14	川合第2配水池	27.0	
(旧名古屋山簡易水道)			
15	名古屋山第1配水池 (P)	58.0	
16	名古屋山第2配水池	5.0	
(旧大島簡易水道)			
17	大島高区配水池	22.5	
18	漆平島配水池	23.3	
19	大島低区配水池	32.0	
(旧上島簡易水道)			
20	上島配水池	53.3	
(旧八重河内簡易水道)			
21	此田配水池	28.6	
22	本村第1配水池	52.8	
23	本村第2配水池	20.8	
24	本村第3配水池	36.3	
25	梅平配水池	25.4	
(旧十原簡易水道)			
26	十原配水池	32.3	
(旧下中郷飲料水供給施設)			
27	下中郷第1配水池	40.0	
28	下中郷第2配水池	2.5	
(旧下栗上区飲料水供給施設)			
29	上区屋敷配水池	20.0	
30	上区大野配水池	4.5	
(旧ウトウドチ飲料水供給施設)			
31	ウトウドチ配水池	35.0	
(旧池口飲料水供給施設)			
32	池口配水池	26.7	
(旧和見飲料水供給施設)			
33	和見配水池	20.0	
(旧上中郷簡易給水施設)			
34	上中郷第1配水池	36.0	
35	上中郷第2配水池	16.5	
(旧風折簡易給水施設)			
36	風折配水池	23.0	

(4) ポンプ場等の概要

○上水道

妙琴浄水場系

No.	施設名	容量(m ³)
1	西部山麓ポンプ場	360.0
2	伊賀良低区受水槽	22.5
3	山本受水槽(P)	148.5
4	大瀬木受水槽(P)	37.5
5	梅ヶ久保受水槽(P)	10.0
6	久米ポンプ所	10.7
7	竜峡受水槽(P)	4.5
8	川路受水槽(P)	5.5
9	伊豆木中継ポンプ場	41.0
10	龍江低区ポンプ所	7.2
11	下久堅受水槽(P)	159.6
12	知久平中継ポンプ場	21.0
13	南原中継ポンプ場	10.7
14	亀平中継ポンプ場	13.0
15	柿野沢中継ポンプ場	9.0
16	上虎岩中継ポンプ場	13.0

砂払浄水場系

No.	施設名	容量(m ³)
17	今宮中継ポンプ場	193.5

野底浄水場系

No.	施設名	容量(m ³)
18	大堤受水槽(P)	5.0

米川浄水場系

No.	施設名	容量(m ³)
19	芋平中継ポンプ場	7.6
20	野池中継ポンプ場	7.6

上久堅浄水場系

No.	施設名	容量(m ³)
21	上久堅導水ポンプ場	9.0

○簡易水道

遠山簡易水道

No.	施設名	容量(m ³)
(旧下栗簡易水道)		
1	途中沢中継ポンプ場	40.0
(旧和田簡易水道)		
2	和田送水ポンプ槽	3.88
(旧八重河内簡易水道)		
3	本村中継ポンプ場	3.4

No.	施設名	容量(m ³)
(旧下中郷飲料水供給施設)		
4	下中郷送水ポンプ所	1.0
(旧下栗上区飲料水供給施設)		
5	上区大野送水ポンプ所	1.0

6 環境に配慮した取組

再生可能エネルギー設備の概要 (太陽光発電)

No.	項目 浄水場名	年度	発電量 (kwh)	使用電力量 (kwh)	売電力量 (kwh)	CO ₂ 削減量 (t)
①	砂払浄水場	令和3年度	13,989	8,841	5,148	9.2
		令和4年度	14,861	9,601	5,260	9.8
		令和5年度	15,025	9,421	5,604	9.9
②	野底浄水場	令和3年度	9,771	4,892	4,879	6.4
		令和4年度	10,362	4,488	5,874	6.8
		令和5年度	10,619	4,327	6,292	7.0

* CO₂削減量：火力発電によるCO₂排出係数を0.66kgCO₂/kwhとした場合

7 水道事業会計財務状況

(1) 比較損益計算書(簡易水道事業を含む)

科 目	年 度	No.	令和元年度			令和2年度		
			金 額	構成比	対前年比 増減率	金 額	構成比	対前年比 増減率
営業収益 (A)		1	1,577,753	77.6	△ 1.2	1,587,687	80.2	0.6
給水収益		2	1,474,727	72.5	△ 1.7	1,474,626	74.5	0.0
加入金		3	30,130	1.5	22.9	39,330	2.0	30.5
受託工事収益		4	3,240	0.2	皆増	6,169	0.3	90.4
受託金		5	53,617	2.6	△ 1.1	53,600	2.7	0.0
その他営業収益		6	16,039	0.8	△ 6.4	13,962	0.7	△ 12.9
営業費用 (B)		7	1,686,201	92.7	△ 1.0	1,642,047	93.1	△ 2.6
原水及び浄水費		8	383,657	21.1	5.6	404,269	22.9	5.4
配水及び給水費		9	249,106	13.7	△ 18.8	211,542	12.0	△ 15.1
受託工事費		10	3,240	0.2	皆増	6,169	0.4	90.4
総係費		11	173,374	9.5	0.9	169,542	9.6	△ 2.2
減価償却費		12	841,502	46.3	1.4	841,019	47.7	△ 0.1
資産減耗費		13	35,322	1.9	12.7	9,506	0.5	△ 73.1
営業利益 (C)=(A-B)		14	△ 108,448	—	1.3	△ 54,360	—	△ 49.9
営業外収益 (D)		15	456,329	22.4	△ 1.9	391,390	19.8	△ 14.2
受取利息及び配当金		16	1,085	0.1	△ 17.9	1,360	0.1	25.3
他会計補助金		17	214,417	10.5	△ 1.4	153,251	7.7	△ 28.5
長期前受金戻入益		18	231,712	11.4	△ 2.7	229,246	11.6	△ 1.1
資本費繰入収益		19	6,362	0.3	2.3	6,439	0.3	1.2
雑収益		20	2,753	0.1	59.5	1,094	0.1	△ 60.3
営業外費用 (E)		21	132,680	7.3	△ 11.6	121,684	6.9	△ 8.3
支払利息及び企業債取扱諸費		22	132,680	7.3	△ 7.2	120,958	6.9	△ 8.8
雑支出		23	0	0.0	△ 100.0	726	0.0	皆増
経常利益 (F)=(C+D-E)		24	215,201	—	3.5	215,346	—	0.1
特別利益 (G)		25	0	0.0	皆減	0	0.0	—
特別損失 (H)		26	293	0.0	△ 80.4	295	0.0	0.7
収益合計 (I)=(A+D+G)		27	2,034,082	100.0	△ 1.3	1,979,077	100.0	△ 2.7
費用合計 (J)=(B+E+H)		28	1,819,174	100.0	△ 1.9	1,764,026	100.0	△ 3.0
当年度純利益 (K)=(I-J)		29	214,908	—	4.0	215,051	—	0.1
当年度未処分利益剰余金		30	214,908	—	4.0	215,051	—	0.1

(単位:千円、%)

No.	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	金額	構成比	対前年比 増減率	金額	構成比	対前年比 増減率	金額	構成比	対前年比 増減率
1	1,573,638	80.7	△ 0.9	1,547,699	80.4	△ 1.6	1,545,348	77.9	△ 0.2
2	1,466,263	75.2	△ 0.6	1,445,801	75.1	△ 1.4	1,442,615	72.7	△ 0.2
3	25,550	1.3	△ 35.0	33,760	1.7	32.1	32,290	1.6	△ 4.4
4	6,230	0.3	1.0	1,513	0.1	△ 75.7	843	0.0	△ 44.3
5	55,201	2.8	3.0	55,060	2.9	△ 0.3	57,426	2.9	4.3
6	20,394	1.1	46.1	11,565	0.6	△ 43.3	12,174	0.7	5.3
7	1,786,517	93.9	8.8	1,737,007	94.4	△ 2.8	1,747,756	94.6	0.6
8	380,052	20.0	△ 6.0	417,318	22.7	9.8	405,966	22.0	△ 2.7
9	224,593	11.8	6.2	193,030	10.5	△ 14.1	207,640	11.2	7.6
10	6,230	0.3	1.0	1,513	0.1	△ 75.7	843	0.0	△ 44.3
11	169,320	8.9	△ 0.1	167,120	9.1	△ 1.3	172,185	9.3	3.0
12	922,808	48.5	9.7	920,992	50.0	△ 0.2	934,116	50.6	1.4
13	83,514	4.4	778.5	37,034	2.0	△ 55.7	27,006	1.5	△ 27.1
14	△ 212,879	—	291.6	△ 189,308	—	△ 11.1	△ 202,408	—	6.9
15	376,600	19.3	△ 3.8	377,837	19.6	0.3	438,766	22.1	16.1
16	1,554	0.1	14.3	1,187	0.1	△ 23.6	1,199	0.0	1.0
17	116,343	6.0	△ 24.1	135,073	7.0	16.1	198,660	10.0	47.1
18	245,925	12.6	7.3	234,511	12.2	△ 4.6	231,401	11.7	△ 1.3
19	6,562	0.3	1.9	5,084	0.2	△ 22.5	3,879	0.2	△ 23.7
20	6,216	0.3	468.2	1,982	0.1	△ 68.1	3,627	0.2	83.0
21	109,648	5.8	△ 9.9	96,167	5.2	△ 12.3	89,452	4.8	△ 7.0
22	109,274	5.8	△ 9.7	95,332	5.2	△ 12.8	86,956	4.7	△ 8.8
23	374	0.0	△ 48.5	835	0.0	123.3	2,496	0.1	198.9
24	54,073	—	△ 74.9	92,362	—	70.8	146,906	—	59.1
25	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—
26	6,640	0.3	2,150.8	7,921	0.4	19.3	10,995	0.6	38.8
27	1,950,238	100.0	△ 1.5	1,925,536	100.0	△ 1.3	1,984,114	100.0	3.0
28	1,902,805	100.0	7.9	1,841,095	100.0	△ 3.2	1,848,203	100.0	0.4
29	47,433	—	△ 77.9	84,441	—	78.0	135,911	—	61.0
30	47,433	—	△ 77.9	84,441	—	78.0	135,911	—	61.0

(2) 総費用の要素別経費内訳比較表（簡易水道事業を含む）

科 目	年 度 No.	令和元年度			令和2年度		
		金 額	構成比	対前年比 増減率	金 額	構成比	対前年比 増減率
人 件 費	1	117,113	6.4	△ 4.3	121,826	6.9	4.0
動 力 費	2	71,140	3.9	△ 2.3	65,005	3.7	△ 8.6
修 繕 費	3	17,753	1.0	2.5	15,632	0.9	△ 11.9
材 料 費	4	1,530	0.1	△ 61.2	1,869	0.1	22.2
委 託 料	5	379,578	20.9	△ 0.3	425,369	24.1	12.1
工 事 請 負 費	6	161,053	8.9	△ 10.9	101,207	5.7	△ 37.2
減 価 償 却 費	7	841,501	46.3	1.4	841,019	47.7	△ 0.1
資 産 減 耗 費	8	35,322	1.9	12.7	9,506	0.5	△ 73.1
支 払 利 息	9	132,680	7.3	△ 7.2	120,958	6.9	△ 8.8
過年度損益修正損	10	271	0.0	△ 80.4	278	0.0	2.6
その他特別損失	11	22	0.0	△ 80.2	17	0.0	△ 22.7
そ の 他 費 用	12	61,211	3.4	△ 14.0	61,340	3.5	0.2
合 計	13	1,819,174	100.0	△ 1.9	1,764,026	100.0	△ 3.0

(注) 1 人件費は、職員の給料・手当・法定福利費及び会計年度任用職員報酬手当の合計である。

2 工事請負費には、受託工事費を含む。

3 資産減耗費は、固定資産除却費及びたな卸資産減耗費の合計である。

4 その他費用は、委託料を除いた物件費、役務費、負担金等である。

(単位:千円、%)

No.	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	金額	構成比	対前年比 増減率	金額	構成比	対前年比 増減率	金額	構成比	対前年比 増減率
1	113,295	6.0	△ 7.0	120,123	6.5	6.0	121,244	6.6	0.9
2	67,607	3.6	4.0	93,081	5.1	37.7	76,115	4.1	△ 18.2
3	29,356	1.5	87.8	32,668	1.8	11.3	29,452	1.6	△ 9.8
4	1,465	0.1	△ 21.6	2,390	0.1	63.1	1,710	0.1	△ 28.5
5	416,205	21.9	△ 2.2	417,329	22.7	0.3	419,953	22.7	0.6
6	96,910	5.1	△ 4.2	57,842	3.1	△ 40.3	83,201	4.5	43.8
7	922,808	48.5	9.7	920,992	50.0	△ 0.2	934,116	50.5	1.4
8	83,514	4.4	778.5	37,034	2.0	△ 55.7	27,006	1.5	△ 27.1
9	109,274	5.7	△ 9.7	95,332	5.2	△ 12.8	86,956	4.7	△ 8.8
10	372	0.0	33.8	82	0.0	△ 78.0	77	0.0	△ 6.1
11	6,268	0.3	36,770.6	7,838	0.4	25.0	8,446	0.5	7.8
12	55,731	2.9	△ 9.1	56,384	3.1	1.2	59,927	3.2	6.3
13	1,902,805	100.0	7.9	1,841,095	100.0	△ 3.2	1,848,203	100.0	0.4

(3) 比較貸借対照表 (簡易水道事業を含む)

◎資産の部

科 目	年 度	No.	令和元年度			令和2年度		
			金 額	構成比	対前年比 増減率	金 額	構成比	対前年比 増減率
固定資産 (A)=(B+C)		1	23,692,045	92.1	1.3	23,940,867	92.6	1.1
有形固定資産 (B)		2	23,597,247	91.7	1.4	23,847,826	92.3	1.1
土地		3	1,112,285	4.3	0.0	1,162,046	4.5	4.5
建物		4	481,097	1.9	△ 3.4	1,505,615	5.8	213.0
構築物		5	19,017,760	73.9	△ 2.6	18,802,815	72.7	△ 1.1
機械及び装置		6	1,003,609	3.9	△ 0.3	2,050,039	7.9	104.3
車両運搬具		7	5,272	0.0	△ 10.2	3,735	0.0	△ 29.2
工具器具及び備品		8	2,763	0.0	△ 19.0	2,620	0.0	△ 5.2
リース資産		9	0	0.0	—	0	0.0	—
建設仮勘定		10	1,974,461	7.7	74.6	320,956	1.2	△ 83.7
無形固定資産 (C)		11	94,798	0.4	△ 0.4	93,041	0.4	△ 1.9
施設利用権		12	40,176	0.2	△ 2.9	38,954	0.2	△ 3.0
電話加入権		13	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
ソフトウェア		14	54,613	0.2	1.5	54,078	0.2	△ 1.0
流動資産 (D)		15	2,031,750	7.9	△ 0.9	1,908,903	7.4	△ 6.0
現金預金		16	1,944,725	7.6	△ 1.2	1,752,342	6.8	△ 9.9
未収金		17	62,514	0.2	8.3	33,745	0.1	△ 46.0
貯蔵品		18	21,511	0.1	1.2	21,546	0.1	0.2
前払金		19	0	0.0	—	0	0.0	—
有価証券		20	0	0.0	—	98,270	0.4	皆増
その他流動資産		21	3,000	0.0	0.0	3,000	0.0	0.0
資産合計 (F)=(A+D)		22	25,723,795	100.0	1.2	25,849,770	100.0	0.5

(単位:千円、%)

No.	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	金額	構成比	対前年比 増減率	金額	構成比	対前年比 増減率	金額	構成比	対前年比 増減率
1	23,782,665	93.2	△ 0.7	23,873,366	93.5	0.4	24,062,365	93.1	0.8
2	23,690,372	92.8	△ 0.7	23,766,464	93.0	0.3	23,962,132	92.7	0.8
3	1,185,591	4.6	2.0	1,235,098	4.8	4.2	1,231,671	4.8	△ 0.3
4	1,493,504	5.9	△ 0.8	1,459,416	5.8	△ 2.3	1,425,370	5.5	△ 2.3
5	18,579,331	72.8	△ 1.2	18,418,391	72.1	△ 0.9	18,057,308	69.9	△ 2.0
6	1,936,522	7.6	△ 5.5	1,863,580	7.3	△ 3.8	1,842,567	7.1	△ 1.1
7	2,461	0.0	△ 34.1	3,913	0.0	59.0	3,090	0.0	△ 21.0
8	2,129	0.0	△ 18.7	11,251	0.0	428.5	8,569	0.0	△ 23.8
9	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—
10	490,834	1.9	52.9	774,815	3.0	57.9	1,393,557	5.4	79.9
11	92,293	0.4	△ 0.8	106,902	0.5	15.8	100,233	0.4	△ 6.2
12	37,733	0.2	△ 3.1	36,511	0.2	△ 3.2	35,290	0.1	△ 3.3
13	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0	9	0.0	0.0
14	54,551	0.2	0.9	70,382	0.3	29.0	64,934	0.3	△ 7.7
15	1,748,429	6.8	△ 8.4	1,673,203	6.5	△ 4.3	1,780,283	6.9	6.4
16	1,591,135	6.2	△ 9.2	1,505,505	5.9	△ 5.4	1,585,563	6.1	5.3
17	39,175	0.1	16.1	57,418	0.2	46.6	55,584	0.2	△ 3.2
18	22,659	0.1	5.2	22,650	0.1	0.0	22,603	0.1	△ 0.2
19	0	0.0	—	0	0.0	—	36,983	0.2	皆増
20	92,460	0.4	△ 5.9	84,630	0.3	△ 8.5	76,550	0.3	△ 9.5
21	3,000	0.0	0.0	3,000	0.0	0.0	3,000	0.0	0.0
22	25,531,094	100.0	△ 1.2	25,546,569	100.0	0.1	25,842,648	100.0	1.2

◎負債・資本の部

科 目	年 度	No.	令和元年度			令和2年度		
			金 額	構成比	対前年比 増減率	金 額	構成比	対前年比 増減率
固定負債 (A)		1	6,941,266	27.0	0.4	6,776,811	26.2	△ 2.4
企業債		2	6,941,266	27.0	0.4	6,776,811	26.2	△ 2.4
流動負債 (B)		3	576,991	2.2	△ 9.2	603,628	2.3	4.6
企業債		4	536,902	2.1	0.0	550,355	2.1	2.5
リース債務		5	0	0.0	—	0	0.0	—
未払金		6	1,636	0.0	△ 2.9	1,439	0.0	△ 12.0
前受金		7	397	0.0	△ 19.3	467	0.0	17.6
賞与、法定福利引当金		8	9,200	0.0	△ 6.7	8,651	0.0	△ 6.0
下水道料金預り金		9	25,658	0.1	△ 69.2	39,477	0.2	53.9
その他流動負債		10	3,198	0.0	△ 4.3	3,239	0.0	1.3
繰延収益 (C)		11	5,675,459	22.1	△ 3.7	5,486,422	21.2	△ 3.3
長期前受金		12	5,654,538	22.0	△ 3.8	5,482,933	21.2	△ 3.0
建設仮勘定長期前受金		13	20,921	0.1	17.2	3,489	0.0	△ 83.3
負債合計 (D)=(A+B+C)		14	13,193,716	51.3	△ 1.9	12,866,861	49.8	△ 2.5
資本金 (E)		15	10,559,670	41.1	3.2	10,795,937	41.8	2.2
自己資本金		16	10,559,670	41.1	3.2	10,795,937	41.8	2.2
剰余金 (F)=(G+H)		17	1,970,409	7.7	12.2	2,186,973	8.5	11.0
資本剰余金 (G)		18	532,427	2.1	0.0	533,940	2.1	0.3
受贈財産評価額		19	356,095	1.4	0.0	357,608	1.4	0.4
補助金		20	176,332	0.7	0.0	176,332	0.7	0.0
利益剰余金 (H)		21	1,437,982	5.6	17.6	1,653,033	6.4	15.0
減債積立金		22	1,073,074	4.2	23.9	1,287,982	5.0	20.0
建設改良積立金		23	150,000	0.6	0.0	150,000	0.6	0.0
当年度純利益		24	214,908	0.8	4.0	215,051	0.8	0.1
その他の未処分利益剰余金変動額		25	0	0.0	—	0	0.0	—
資本合計 (I)=(E+F)		26	12,530,079	48.7	4.6	12,982,910	50.2	3.6
負債・資本合計 (J)=(D+I)		27	25,723,795	100.0	1.2	25,849,771	100.0	0.5

(単位:千円、%)

No.	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	金額	構成比	対前年比増減率	金額	構成比	対前年比増減率	金額	構成比	対前年比増減率
1	6,444,569	25.2	△ 4.9	6,398,482	25.0	△ 0.7	6,483,098	25.1	1.3
2	6,444,569	25.2	△ 4.9	6,398,482	25.0	△ 0.7	6,483,098	25.1	1.3
3	614,475	2.4	1.8	584,095	2.3	△ 4.9	590,768	2.3	1.1
4	546,042	2.1	△ 0.8	534,586	2.1	△ 2.1	546,184	2.1	2.2
5	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—
6	16,985	0.1	1,080.3	2,208	0.0	△ 87.0	1,949	0.0	△ 11.7
7	465	0.0	△ 0.4	652	0.0	40.2	104	0.0	△ 84.0
8	9,283	0.0	7.3	8,734	0.0	△ 5.9	9,052	0.0	3.6
9	38,461	0.2	△ 2.6	32,866	0.2	△ 14.5	30,217	0.2	△ 8.1
10	3,239	0.0	0.0	5,049	0.0	55.9	3,262	0.0	△ 35.4
11	5,281,135	20.7	△ 3.7	5,082,689	19.9	△ 3.8	4,886,320	18.9	△ 3.9
12	5,279,454	20.7	△ 3.7	5,073,432	19.9	△ 3.9	4,884,471	18.9	△ 3.7
13	1,681	0.0	△ 51.8	9,257	0.0	450.7	1,849	0.0	△ 80.0
14	12,340,179	48.3	△ 4.1	12,065,266	47.2	△ 2.2	11,960,186	46.3	△ 0.9
15	10,956,395	42.9	1.5	11,182,813	43.8	2.1	11,588,783	44.8	3.6
16	10,956,395	42.9	1.5	11,182,813	43.8	2.1	11,588,783	44.8	3.6
17	2,234,520	8.8	2.2	2,298,490	9.0	2.9	2,293,679	8.9	△ 0.2
18	534,053	2.1	0.0	534,053	2.1	0.0	534,073	2.1	0.0
19	357,721	1.4	0.0	357,721	1.4	0.0	357,741	1.4	0.0
20	176,332	0.7	0.0	176,332	0.7	0.0	176,332	0.7	0.0
21	1,700,467	6.7	2.9	1,764,437	6.9	3.8	1,759,606	6.8	△ 0.3
22	1,482,563	5.8	15.1	1,389,253	5.4	△ 6.3	1,449,789	5.6	4.4
23	150,000	0.6	0.0	150,000	0.6	0.0	150,000	0.6	0.0
24	47,433	0.2	△ 77.9	84,441	0.3	78.0	135,911	0.5	61.0
25	20,471	0.1	皆増	140,743	0.6	587.5	23,906	0.1	△ 83.0
26	13,190,915	51.7	1.6	13,481,303	52.8	2.2	13,882,462	53.7	3.0
27	25,531,094	100.0	△ 1.2	25,546,569	100.0	0.1	25,842,648	100.0	1.2

(4) 収益費用明細書

(消費税抜き)

款 項	目	No.	令和元年度		令和2年度	
			金額	対前年比 増減率	金額	対前年比 増減率
水道事業収益		1	1,923,476	△ 1.8	1,872,804	△ 2.6
	営業収益	2	1,547,222	△ 1.1	1,558,209	0.7
	給水収益	3	1,444,338	△ 1.7	1,445,497	0.1
	加入金	4	30,130	22.9	39,100	29.8
	受託工事収益	5	3,240	皆増	6,169	90.4
	受託金	6	53,616	△ 1.1	53,600	△ 0.0
	その他営業収益	7	15,898	△ 6.3	13,843	△ 12.9
	営業外収益	8	376,254	△ 4.6	314,595	△ 16.4
	受取利息及び配当金	9	1,086	△ 17.8	1,360	25.2
	他会計補助金	10	162,743	△ 6.6	102,957	△ 36.7
	長期前受金戻入益	11	209,111	△ 3.5	208,610	△ 0.2
	資本費繰入収益	12	562	4.3	586	4.3
	雑収益	13	2,752	65.5	1,082	△ 60.7
	特別利益	14	0	皆減	0	-
	その他特別利益	15	0	皆減	0	-
簡易水道事業収益		16	110,606	8.3	106,273	△ 3.9
	営業収益	17	30,530	△ 3.3	29,478	△ 3.4
	給水収益	18	30,390	△ 3.2	29,129	△ 4.1
	加入金	19	0	-	230	皆増
	その他営業収益	20	140	△ 19.1	119	△ 15.0
	営業外収益	21	80,076	13.5	76,795	△ 4.1
	他会計補助金	22	51,675	19.5	50,294	△ 2.7
	長期前受金戻入益	23	22,600	4.9	20,636	△ 8.7
	資本費繰入収益	24	5,800	2.1	5,853	0.9
	雑収益	25	1	△ 98.4	12	1,100.0
	特別利益	26	0	-	0	-
	過年度損益修正益	27	0	-	0	-
	合 計	28	2,034,082	△ 1.3	1,979,077	△ 2.7
水道事業費用		29	1,690,603	△ 1.7	1,641,382	△ 2.9
	営業費用	30	1,564,424	△ 0.8	1,525,574	△ 2.5
	原水及び浄水費	31	345,235	6.0	366,055	6.0
	配水及び給水費	32	244,152	△ 16.7	206,323	△ 15.5
	受託工事費	33	3,240	皆増	6,169	90.4
	総係費	34	166,819	1.0	162,708	△ 2.5
	減価償却費	35	775,137	1.8	774,813	△ 0.0
	資産減耗費	36	29,841	△ 4.7	9,506	△ 68.1
	営業外費用	37	125,894	△ 11.7	115,513	△ 8.2
	支払利息及び企業債取扱諸費	38	125,894	△ 7.1	114,787	△ 8.8
	雑支出	39	0	△ 100.0	726	皆増
	特別損失	40	285	△ 77.7	295	3.5
	固定資産売却損	41	0	-	0	-
	過年度損益修正損	42	264	△ 77.7	278	5.3
	その他特別損失	43	21	△ 77.9	17	△ 19.0
簡易水道事業費用		44	128,571	△ 4.4	122,644	△ 4.6
	営業費用	45	121,777	△ 3.9	116,473	△ 4.4
	原水及び浄水費	46	38,422	1.4	38,214	△ 0.5
	配水及び給水費	47	4,954	△ 63.6	5,219	5.3
	総係費	48	6,555	△ 1.8	6,834	4.3
	減価償却費	49	66,364	△ 3.3	66,206	△ 0.2
	資産減耗費	50	5,482	皆増	0	皆減
	営業外費用	51	6,786	△ 9.4	6,171	△ 9.1
	支払利息及び企業債取扱諸費	52	6,786	△ 9.4	6,171	△ 9.1
	特別損失	53	8	△ 96.3	0	皆減
	過年度損益修正損	54	7	△ 96.5	0	皆減
	その他特別損失	55	1	△ 93.8	0	皆減
	合 計	56	1,819,174	△ 1.9	1,764,026	△ 3.0

(単位:千円、%)

No.	令和3年度		令和4年度		令和5年度		
	金額	対前年比 増減率	金額	対前年比 増減率	金額	対前年比 増減率	対前年比 増減額
1	1,843,462	△ 1.6	1,836,410	△ 0.4	1,895,677	3.2	59,267
2	1,543,911	△ 0.9	1,519,795	△ 1.6	1,518,155	△ 0.1	△ 1,640
3	1,436,752	△ 0.6	1,418,009	△ 1.3	1,415,896	△ 0.1	△ 2,113
4	25,460	△ 34.9	33,760	32.6	32,090	△ 4.9	△ 1,670
5	6,230	1.0	1,513	△ 75.7	843	△ 44.3	△ 670
6	55,201	3.0	55,060	△ 0.3	57,426	4.3	2,366
7	20,268	46.4	11,453	△ 43.5	11,900	3.9	447
8	299,551	△ 4.8	316,615	5.7	377,522	19.2	60,907
9	1,553	14.2	1,187	△ 23.6	1,199	1.0	12
10	77,004	△ 25.2	96,612	25.5	158,717	64.3	62,105
11	214,167	2.7	216,197	0.9	213,520	△ 1.2	△ 2,677
12	611	4.3	637	4.3	459	△ 27.9	△ 178
13	6,216	474.5	1,982	△ 68.1	3,627	83.0	1,645
14	0	-	0	-	0	-	0
15	0	-	0	-	0	-	0
16	106,777	0.5	89,126	△ 16.5	88,437	△ 0.8	△ 689
17	29,728	0.8	27,904	△ 6.1	27,193	△ 2.5	△ 711
18	29,511	1.3	27,792	△ 5.8	26,719	△ 3.9	△ 1,073
19	90	△ 60.9	0	皆減	200	皆増	200
20	127	6.7	112	△ 11.8	274	144.6	162
21	77,049	0.3	61,222	△ 20.5	61,244	0.0	22
22	39,338	△ 21.8	38,461	△ 2.2	39,943	3.9	1,482
23	31,759	53.9	18,314	△ 42.3	17,881	△ 2.4	△ 433
24	5,952	1.7	4,447	△ 25.3	3,420	△ 23.1	△ 1,027
25	0	皆減	0	-	0	-	0
26	0	-	0	-	0	-	0
27	0	-	0	-	0	-	0
28	1,950,239	△ 1.5	1,925,536	△ 1.3	1,984,114	3.0	58,578
29	1,733,776	5.6	1,720,031	△ 0.8	1,723,373	0.2	3,342
30	1,623,061	6.4	1,621,140	△ 0.1	1,627,592	0.4	6,452
31	338,358	△ 7.6	376,095	11.2	363,802	△ 3.3	△ 12,293
32	221,907	7.6	188,513	△ 15.0	200,416	6.3	11,903
33	6,230	1.0	1,513	△ 75.7	843	△ 44.3	△ 670
34	162,422	△ 0.2	160,057	△ 1.5	165,090	3.1	5,033
35	862,642	11.3	858,021	△ 0.5	870,631	1.5	12,610
36	31,502	231.4	36,941	17.3	26,810	△ 27.4	△ 10,131
37	104,080	△ 9.9	90,978	△ 12.6	84,786	△ 6.8	△ 6,192
38	103,706	△ 9.7	90,143	△ 13.1	82,290	△ 8.7	△ 7,853
39	374	△ 48.5	835	123.3	2,496	198.9	1,661
40	6,635	2,149.2	7,913	19.3	10,995	38.9	3,082
41	0	-	0	-	2,472	皆増	2,472
42	369	32.7	75	△ 79.7	77	2.7	2
43	6,266	36,758.8	7,838	25.1	8,446	7.8	608
44	169,030	37.8	121,064	△ 28.4	124,830	3.1	3,766
45	163,457	40.3	115,867	△ 29.1	120,164	3.7	4,297
46	41,694	9.1	41,223	△ 1.1	42,164	2.3	941
47	2,686	△ 48.5	4,517	68.2	7,224	59.9	2,707
48	6,899	1.0	7,063	2.4	7,095	0.5	32
49	60,166	△ 9.1	62,971	4.7	63,485	0.8	514
50	52,012	皆増	93	△ 99.8	196	110.8	103
51	5,568	△ 9.8	5,189	△ 6.8	4,666	△ 10.1	△ 523
52	5,568	△ 9.8	5,189	△ 6.8	4,666	△ 10.1	△ 523
53	5	皆増	8	60.0	0	皆減	△ 8
54	3	皆増	7	133.3	0	皆減	△ 7
55	2	皆増	1	△ 50.0	0	皆減	△ 1
56	1,902,806	7.9	1,841,095	△ 3.2	1,848,203	0.4	7,108

(5) 資本の収支明細書

(消費税込み)

款 項	目	No.	令和元年度		令和2年度	
			金額	対前年比 増減率	金額	対前年比 増減率
水道事業資本の収入		1	871,995	△ 14.4	647,389	△ 25.8
	企業債	2	547,700	△ 20.1	385,900	△ 29.5
	他会計負担金	3	4,600	△ 36.9	14,899	223.9
	補助金	4	3,223	△ 66.6	480	△ 85.1
	国庫補助金	5	2,473	△ 72.1	0	皆減
	他会計補助金	6	750	△ 3.8	480	△ 36.0
	補償金	7	0	皆減	21,741	皆増
	出資金	8	316,472	3.8	224,369	△ 29.1
	固定資産売却代金	9	0	皆減	0	-
簡易水道事業資本の収入		10	36,403	41.1	11,897	△ 67.3
	企業債	11	19,000	187.9	0	皆減
	補償金	12	3,455	皆増	0	-
	出資金	13	13,948	△ 27.3	11,897	△ 14.7
合 計 (A)		14	908,398	△ 13.1	659,286	△ 27.4
水道事業資本の支出		15	1,760,494	△ 6.7	1,671,393	△ 5.1
	建設改良費	16	1,262,519	△ 6.1	1,169,979	△ 7.3
	拡張費	17	979,520	△ 4.7	721,458	△ 26.3
	改良費	18	200,673	△ 12.3	367,816	83.3
	設備費	19	31,563	△ 12.7	34,815	10.3
	事務費	20	50,763	△ 1.5	45,890	△ 9.6
	企業債償還金	21	497,975	△ 8.2	501,414	0.7
	国庫補助金返還金	22	0	-	0	-
簡易水道事業資本の支出		23	66,634	8.4	57,651	△ 13.5
	建設改良費	24	27,716	125.5	22,163	△ 20.0
	拡張費	25	0	皆減	11,820	皆増
	改良費	26	26,443	412.8	9,881	△ 62.6
	設備費	27	1,273	皆増	462	△ 63.7
	企業債償還金	28	38,918	△ 20.9	35,488	△ 8.8
合 計 (B)		29	1,827,128	△ 6.2	1,729,044	△ 5.4
資本の収入が資本の支出に対して不足する額 (A)-(B)		30	918,730	1.6	1,069,758	16.4
補 て ん 財 源 内 訳	過年度分損益勘定留保資金	31	728,250	△ 10.0	553,679	△ 24.0
	当年度分損益勘定留保資金	32	91,243	皆増	417,876	358.0
	減債積立金	33	0	-	0	-
	消費税資本の収支調整額	34	99,237	4.7	98,203	△ 1.0
	合 計	35	918,730	1.6	1,069,758	16.4

(単位:千円・%)

No.	令和3年度		令和4年度		令和5年度		
	金額	対前年比 増減率	金額	対前年比 増減率	金額	対前年比 増減率	対前年比 増減額
1	335,456	△ 48.2	680,214	102.8	897,462	31.9	217,248
2	146,800	△ 62.0	452,100	208.0	609,800	34.9	157,700
3	13,333	△ 10.5	20,758	55.7	19,815	△ 4.5	△ 943
4	480	-	528	10.0	576	9.1	48
5	0	-	0	-	0	-	0
6	480	-	528	10.0	576	9.1	48
7	27,050	24.4	14,218	△ 47.4	14,641	3.0	423
8	147,793	△ 34.1	192,610	30.3	251,629	30.6	59,019
9	0	-	0	-	1,001	皆増	1,001
10	79,666	569.6	49,737	△ 37.6	34,598	△ 30.4	△ 15,139
11	67,000	皆増	36,400	△ 45.7	21,000	△ 42.3	△ 15,400
12	0	-	0	-	0	-	0
13	12,666	6.5	13,337	5.3	13,598	2.0	261
14	415,122	△ 37.0	729,951	75.8	932,060	27.7	202,109
15	1,345,091	△ 19.5	1,599,051	18.9	1,742,275	9.0	143,224
16	831,738	△ 28.9	1,088,577	30.9	1,241,724	14.1	153,147
17	261,373	△ 63.8	373,408	42.9	648,348	73.6	274,940
18	494,476	34.4	611,439	23.7	521,023	△ 14.8	△ 90,416
19	18,874	△ 45.8	54,594	189.3	22,838	△ 58.2	△ 31,756
20	57,015	24.2	49,136	△ 13.8	49,515	0.8	379
21	513,128	2.3	510,474	△ 0.5	500,551	△ 1.9	△ 9,923
22	225	皆増	0	皆減	0	-	0
23	126,581	119.6	91,279	△ 27.9	57,931	△ 36.5	△ 33,348
24	89,355	303.2	55,711	△ 37.7	23,896	△ 57.1	△ 31,815
25	82,200	595.4	49,819	△ 39.4	14,073	△ 71.8	△ 35,746
26	6,465	△ 34.6	5,168	△ 20.1	9,350	80.9	4,182
27	690	49.4	724	4.9	473	△ 34.7	△ 251
28	37,226	4.9	35,568	△ 4.5	34,035	△ 4.3	△ 1,533
29	1,471,672	△ 14.9	1,690,330	14.9	1,800,206	6.5	109,876
30	1,056,550	△ 1.2	960,379	△ 9.1	868,146	△ 9.6	△ 92,233
31	202,597	△ 63.4	0	皆減	0	-	0
32	756,716	81.1	722,641	△ 4.5	733,642	1.5	11,001
33	20,471	皆増	140,743	587.5	23,906	△ 83.0	△ 116,837
34	76,766	△ 21.8	96,995	26.4	110,598	14.0	13,603
35	1,056,550	△ 1.2	960,379	△ 9.1	868,146	△ 9.6	△ 92,233

(6) 経営分析比較表 (簡易水道事業を含む)

項 目	年 度 別 数 値					
	No.	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
有収率(%)	1	83.4	85.4	82.8	86.4	87.4
負荷率(%)	2	76.9	83.1	87.9	91.0	89.7
施設利用率(%)	3	68.0	64.9	67.2	64.0	63.3
供給単価(円/m ³)	4	155.37	155.84	155.63	155.74	156.12
給水原価(円/m ³)	5	167.26	167.38	161.30	174.62	172.46
料金回収率(%)	6	92.9	93.1	96.5	89.2	90.5
職員一人当り給水人口(人)	7	4,769	4,504	4,458	4,408	4,564
職員一人当り有収水量(m ³)	8	459,943	430,141	430,687	427,939	440,995
職員一人当り営業収益(千円)	9	76,026	71,569	71,887	71,246	73,628
料金収入に対する給与費の割合(%)	10	11.2	11.0	11.0	11.2	11.3
総収支比率(%)	11	111.1	111.8	112.2	102.5	104.6
経常収支比率(%)	12	111.2	111.8	112.2	102.9	105.0
営業収支比率(%)	13	93.7	93.6	96.7	88.0	89.1
企業債償還元金対料金収入比率(%)	14	39.4	36.4	36.4	37.5	37.8
企業債利息対料金収入比率(%)	15	9.5	9.0	8.2	7.5	6.6
企業債元利償還元金対料金収入比率(%)	16	49.0	45.4	44.6	45.0	44.4

(注) 「全国平均」は、給水人口5万人以上10万人未満の水道事業体の平均。
令和4年度水道事業経営指標による。

No.	令和5年度	全国平均	算 出 式	備 考
1	87.4	87.3	$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{年間総配水量}} \times 100$	年間総配水量に対する収入となった水量の割合、比率は高いほど良い
2	90.8	83.2	$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日最大配水量}} \times 100$	需要変動の比率を示す、比率は高いほど施設効率が良い
3	62.9	59.2	$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日配水能力}} \times 100$	施設の利用が有効かつ適正に行われているかを見る、比率は高いほど良い
4	157.32	170.73	$\frac{\text{給水収益}}{\text{年間総有収水量}}$	有収水量1m ³ 当たりどれだけの収益を得ているかを表す
5	175.00	173.68	$\frac{\text{(経常費用-長期前受金戻入益)-(受託工事費+材料不用品売却原価)}}{\text{年間有収水量}}$	有収水量1m ³ 当たりどれだけの費用がかかっているかを表す
6	89.9	98.3	$\frac{\text{供給単価}}{\text{給水原価}} \times 100$	有収水量1m ³ 当たり掛かる費用を料金で回収できているかどうかを示す
7	4,305	3,797	$\frac{\text{現在給水人口}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	職員数が適正であるかどうかを見る、数値は大きいほど良い
8	416,816	417,877	$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	職員1人当たりの生産量を見る、数値は大きいほど良い
9	73,548	74,203	$\frac{\text{営業収益-受託工事収益}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	職員1人当たりの売上高を見る、数値は大きいほど良い
10	11.5	9.2	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{料金収入}} \times 100$	料金収入と職員給与費の割合
11	107.4	109.2	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	事業全体の収支状況を見る、比率は100%以上で高いほど良い
12	108.0	109.1	$\frac{\text{営業収益+営業外収益}}{\text{営業費用+営業外費用}} \times 100$	経常収支の状況を見る、比率は100%以上で高いほど良い
13	88.4	94.9	$\frac{\text{営業収益-受託工事収益}}{\text{営業費用-受託工事費用}} \times 100$	営業収支の状況を見る、比率は100%以上で高いほど良い
14	37.1	23.8	$\frac{\text{建設改良のための企業債償還元金}}{\text{料金収入}} \times 100$	企業債発行額が事業規模に対し適正かどうかを見る、比率は低いほど良い
15	6.0	4.1	$\frac{\text{建設改良のための企業債利息}}{\text{料金収入}} \times 100$	同上
16	43.1	27.9	$\frac{\text{建設改良のための企業債元利償還金}}{\text{料金収入}} \times 100$	同上

8 起債残高の推移

(単位:千円)

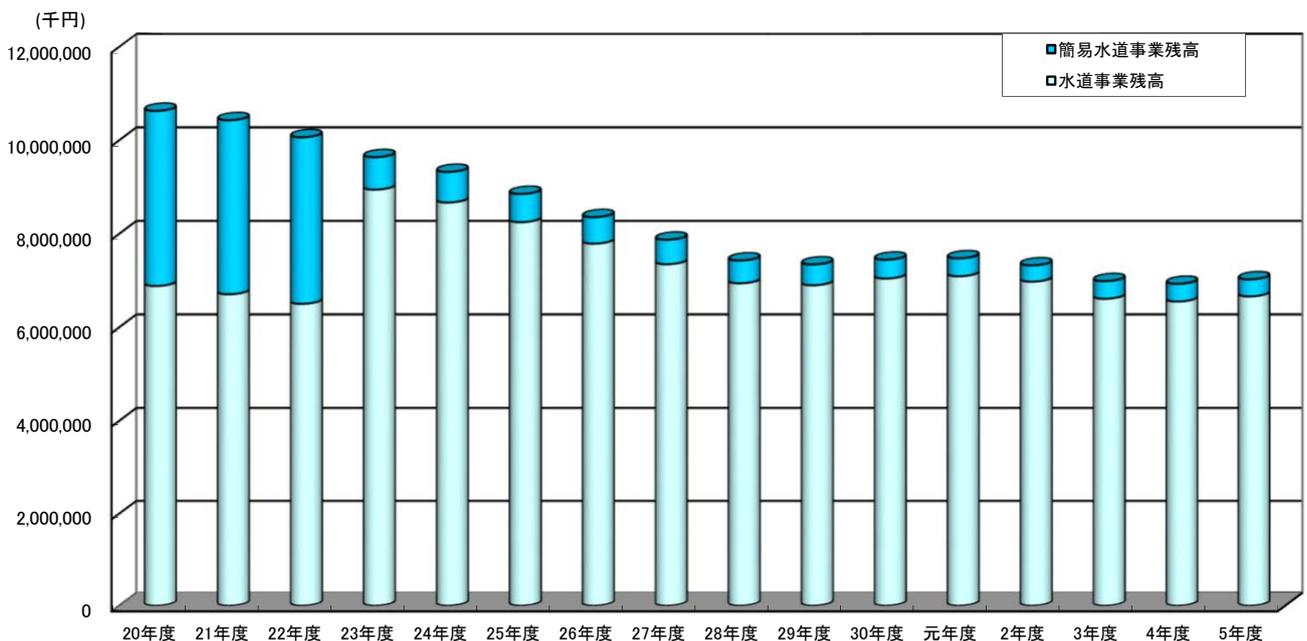
年 度	No.	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
水道事業残高	1	6,887,507	6,711,044	6,505,624	8,948,006	8,672,471	8,252,426	7,792,960	7,352,913
起債借入額	2	417,400	120,000	101,000	76,500	200,000	53,000	31,300	65,600
うち繰上償還に伴う借換債		277,400							
起債償還額	3	560,929	296,463	306,420	468,255	475,535	473,045	490,766	505,647
うち繰上償還額		285,160							
簡易水道事業残高	4	3,744,987	3,721,283	3,562,223	693,016	654,313	603,250	566,026	523,477
起債借入額	5	465,200	302,300	35,600	14,600	10,600	0	10,000	7,000
うち繰上償還に伴う借換債		284,800	142,800						
起債償還額	6	443,878	326,004	194,660	49,669	49,303	51,063	47,224	49,549
うち繰上償還額		284,845	142,931						
起債残高合計	7	10,632,494	10,432,327	10,067,847	9,641,022	9,326,784	8,855,676	8,358,986	7,876,390
給水人口(人)	8	106,699	106,520	105,874	105,400	104,487	103,758	103,143	102,612
給水人口1人当たり残高(単位:円)	9	99,649	97,938	95,093	91,471	89,263	85,349	81,043	76,759

年 度	No.	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
水道事業残高	10	6,945,266	6,902,546	7,045,884	7,095,609	6,980,095	6,613,767	6,555,393	6,664,642
起債借入額	11	113,200	490,400	685,800	547,700	385,900	146,800	452,100	609,800
起債償還額	13	520,847	533,120	542,462	497,975	501,414	513,128	510,474	500,551
簡易水道事業残高	15	486,070	445,050	402,476	382,558	347,070	376,844	377,676	364,640
起債借入額	16	12,000	7,600	6,600	19,000	0	67,000	36,400	21,000
起債償還額	18	49,407	48,620	49,174	38,918	35,488	37,226	35,568	34,036
起債残高合計	20	7,431,336	7,347,596	7,448,360	7,478,167	7,327,165	6,990,611	6,933,069	7,029,282
給水人口(人)	21	101,974	100,995	100,144	99,096	98,069	96,969	95,835	94,701
給水人口1人当たり残高(単位:円)	22	72,875	72,752	74,376	75,464	74,714	72,091	72,344	74,226

*平成19年度に一般会計より松島飲供分7,669千円を引き受けた。

*平成19,20,21年度には、利率6%以上の起債残額について、公的資金補償金免除繰上償還を実施している。

*平成23年度の起債残高は、米川・法山・上久堅簡易水道を水道事業に統合したことにより、2,834,137千円を会計上移し替えた。



飯田市上水道 配水系統図



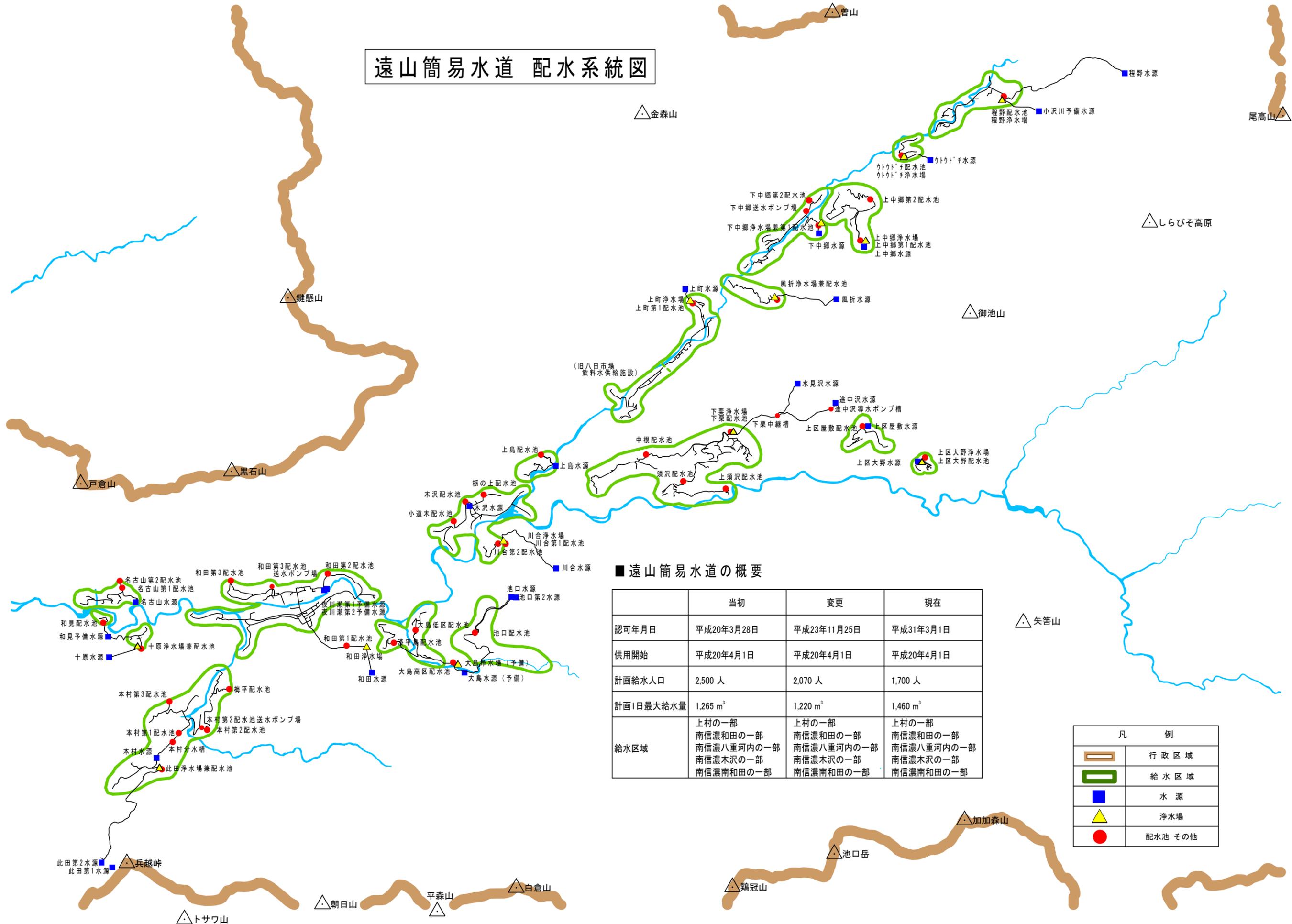
妙琴浄水場系
野底浄水場系
砂払浄水場系
沢城浄水場系
米川浄水場系
法山浄水場系
上久堅浄水場系

凡 例	
● (pink)	水源(表流水・伏流水)
● (blue)	水源(予備水源)
■ (red)	浄水場
■ (yellow)	配水池
■ (blue)	送水ポンプ施設
— (blue)	送水管
— (orange)	導水管

飯田市上水道事業の変遷

	当初	広域	変更	変更	現在
認可年月日	大正15年11月26日	昭和45年3月31日	平成17年3月17日	平成23年3月14日	令和3年3月31日
供用開始日	昭和 3年12月 2日	昭和49年7月 1日	平成17年4月 1日	平成23年4月 1日	令和6年4月 1日 予定
計画給水人口	40,000人	100,000人	104,810人	104,400人	97,900人
計画1日最大給水量	5,840m ³	45,000m ³	40,660m ³	44,400m ³	35,000m ³
給水区域	飯田の一部	飯田・鼎・座光寺 松尾・上郷・伊賀良 及び山本の一部	飯田・座光寺・松尾 下久堅の一部・龍江の一部 竜丘・川路・三穂・山本 伊賀良・鼎・上郷	旧飯田市区域 (遠山簡易水道 上村、南信濃を除く) ※下記旧三簡水の統合 (米川・上久堅・法山)	旧飯田市区域 (遠山簡易水道 上村、南信濃を除く) ※妙琴浄水場浄水方法の変更

遠山簡易水道 配水系統図



遠山簡易水道の概要

	当初	変更	現在
認可年月日	平成20年3月28日	平成23年11月25日	平成31年3月1日
供用開始	平成20年4月1日	平成20年4月1日	平成20年4月1日
計画給水人口	2,500 人	2,070 人	1,700 人
計画1日最大給水量	1,265 m ³	1,220 m ³	1,460 m ³
給水区域	上村の一部 南信濃和田の一部 南信濃八重河内の一部 南信濃木沢の一部 南信濃南和田の一部	上村の一部 南信濃和田の一部 南信濃八重河内の一部 南信濃木沢の一部 南信濃南和田の一部	上村の一部 南信濃和田の一部 南信濃八重河内の一部 南信濃木沢の一部 南信濃南和田の一部

凡 例	
	行政区域
	給水区域
	水源
	浄水場
	配水池 その他